

連帯メッセージ

フィリピン新民族主義者同盟 (BAYAN) 日本支部

BAYAN 日本支部はアジア共同行動 (AWC) 日本連絡会議の今年度の総会に際して熱烈で戦闘的なあいさつを送ります。

昨年はアメリカ帝国主義の指示に追従し続ける日本の支配階級に対する日本の民衆の様々なたたかいがありました。また、日本の労働者階級をとりまく状況を悪化させる様々な反人民的政策が行われました。安倍政権は完全に腐敗しており、その真の狙いは真の平和と民衆にとっての平和を実現するという日本の民衆の意思を抑圧することにあることを示しています。

その策謀の最たるものは、アジア太平洋地域におけるアメリカ帝国主義の策謀と足並みをそろえるための、日本の平和憲法を改悪しようとしていることです。この改悪は日本を対テロ戦争、収奪のための戦争に引きずり込み、米国との軍事同盟を正当化しようとするものすぎません。それはまた、現在の辺野古での米軍基地建設策動やありうる日本への米軍部隊の追加配備を正当化しようとするものです。

他方、安倍政権の中に深く根差した腐敗が明らかになっています。一般の日本の労働者の家計収入が減少し、一般の日本の民衆の生計費がますます耐え難いものになっている一方で、安倍は森友学園問題などの腐敗問題に揺さぶられています。

これらは長年にわたって日本の民衆に貧困をもたらしてきたものが、官僚と独占資本家たちの腐敗にあることを証明しています。

しかしまた、他にも継続する日米軍事同盟の強化や沖縄、岩国、京丹後、神奈川などでの米軍基地強化、原発再稼働、差別と排外主義の拡大など、勝たなければならないたたかいがあります。

AWC 日本連はこれらに対するたたかいの先頭に立ちつつ、アメリカ帝国主義と日本の支配階級の腐敗を暴露してきました。私たちは日本民衆のたたかいを推進し、その先頭に立ち続けてきた AWC 日本連の皆さんに敬意を表するものです。

AWC 日本連は各地、全国、そして国際的なレベルで民衆が抱える問題に取り組んできました。私たち BAYAN 日本支部はそれに鼓舞されてきましたし、皆さんの伝統である戦闘性が今年も発揮されることを期待しています。

BAYAN 日本支部は、安倍政権は退陣せよという AWC 日本連の呼びかけをあらためて支持します。同時に、それは闘争の終局目的ではなく、その先にある帝国主義とすべての反動に反対して日本の民衆を解放するという任務の実現に向けた第一歩であると考えます。

最後に、私たちの結合と連帯は年々強まっており、それは必ずやたたかいの更なる高揚をつくりだすでしょう。そして、私たちの勝利は世界から抑圧と搾取の痕跡が完全に取り除かれるその日に向けた世界のプロレタリアートの闘争に対する貢献となるでしょう。

国際連帯万歳！ マブハイ！